

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第二千九百八十一號

昭和十三年八月八日(月)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房機密第四二七九號
海軍會計規程第三十九條ノ規定ニ拘ラズ吳鎮守府第四特別陸戰隊ノ經費ハ編成ノ日ヨリ支那方面艦隊經費支辨トス

昭和十三年八月五日

海 軍 大 臣

○ 辭 令

中央氣象臺技師 平野 烈介
第三艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス(七月)海軍省

○ 雜 款

○司令驅逐艦復歸
第三驅逐隊司令ハ八月五日司令驅逐艦ヲ沙風ヨリ島風ニ復歸セリ

○司令驅逐艦變更
第十二驅逐隊司令ハ八月四日司令驅逐艦ヲ白雲ヨリ薄雲ニ變更セリ

第二十五驅逐隊司令ハ八月一日司令驅逐艦ヲ一時大潮ヨリ朝潮ニ變更、同日大潮ニ復歸セリ

○郵便物發送先
吳防備戰隊司令部及矢風宛

八月 九日迄ニ到達見込ノモノハ 門 司
共ノ後ハ 吳

第十三砲艇隊宛

自今 佐世保郵便局氣付軍艦嚴島
追テ乗員ニ對スル給與關係書類ハ嚴島主計長宛

呂號第五十八潜水艦宛

八月十六日迄ニ到達見込ノモノハ 青森縣大湊

海軍公報(部内限) 第二千九百八十一號

昭和十三年八月八日

九一三

0623

○艦船所在

▲印ハコハホフ
指定ヲ要セズ

○八月八日午前十時調

【横須賀】

對馬、大鯨、夕張、鳳翔、五十鈴、山城、春日、八雲、長門、木曾

伊曉、漣、狹霧、響、雷、電、夏雲

伊六二

掃二

富士

(飛龍) (劍埼) (高崎)

【長浦】

旗風、春風、秋風、羽風、沖風、峯雲、山雲、朝雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂六六

呂五八、伊一二三、伊一二四

太刀風

【石川島】

掃五、掃六

【横濱】

夕風

【浦賀】

(霞) (不知火) (掃八)

【館山】

澤風

【大湊】

早苗、神風

【函館】

大泊、石廊

【吳】

若竹、矢矧、韓崎、比叡、衣笠、青葉、淀、淺間、扶桑、最上、千歲、大井、加古、陸奥、日向、伊勢、霧島、金剛、那珂

由良、鬼怒、迅鯨、口島海、摩耶、熊野、三隈、鈴谷、神通、阿武隈、龍驤、夕顔、吳竹、菊、葵、萩、磯波、浦波、敷波、綾波、白雲、薄雲、叢雲、東雲、陸月、卯月

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、伊五一、伊五三、伊五五、伊六五、伊七一、伊五七、伊五六、伊五八、伊七二、伊七三、伊一二一、伊一二二、伊三三、呂三四、伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五、伊七、伊七〇、伊六八、伊六九、伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、伊六一

間宮、攝津、鳴戸

(千代田)

【大阪】

古鷹

【神戸】

伊五四、呂五七、呂五九

【相生】

(瑞穂) (伊八) (伊七五) (伊一六)

【玉】

襟裳、早鞆

【因ノ島】

朝風、松風

【江田内】

平戸

【下關】

矢風

【舞鶴】

吾妻、高雄、長鯨、愛宕

海軍公報(部内限) 第二千九百八十一號

昭和十三年八月八日

九一五

0624

吹雪、初雪、白雪、帆風

伊五二

(蔽)

【佐世保】

榛名、那智、北上、羽黒、磐手、赤城、名取、常磐

梨、竹、榎、桃、柳、檜、董、夕風、朝風、若葉、初霜、子日、初春

大潮、滿潮、朝潮、荒潮

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六四、呂六五、呂六七、呂六三、呂六八、伊六六、伊六七

敷島

伊七四

(明石)

古江

峯風

長崎

佐多

(利根)、(筑摩)

鎮海

葦、楡

室戸

【作業地】

出雲、天龍、龍田、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、足柄、沖島、妙高、多摩、長良、神威、能登呂、球磨、勝力、八重山、駒橋、川内、加賀、殿島、白鷹、蒼龍、栗、梅、蓮、薄、葛、藤、芙蓉、朝顔

刈萱、菊月、夕月、望月、三日月、蓼、島風、汐風、灘風、水無月、長月、夕立、村雨、春雨、五月雨、白露、有明、夕暮、時雨、江風、海風、涼風、山風、追風、疾風、皐月、野風、沼風、波風、柳、朧、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧、彌生、如月、文月

初雁、千鳥、友鶴、真鶴、隼、鶉、鴨、鴻、鳩、雁、鷺、雉

掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

朝日、洲崎、鶴見、野島、膠州、知床

【航海中】

掃一、掃三、掃四 (六日横須賀發 - 佐世保)

尻矢 (六日「オ」發 - 徳山)

隠戸 (六日吳發 - 大湊)

海軍公報(部内限)第二千九百八十二號

昭和十三年八月九日(火)

海軍大臣官房

○令達

官房機密第三三九二號ノ四

海軍會計規程第三十九條ノ規定ニ拘ラズ特設掃海母艦
日本海丸ノ經費ハ昭和十三年八月一日ヨリ支那方面艦
隊經費支辨トス

昭和十三年八月一日

海軍大臣

官房機密第四三二〇號

昭和十三年八月九日

海軍大臣

各鎮守府司令長官
舞鶴要港部司令官

消耗兵器年額ニ關スル件訓令

昭和十三年内令兵第三十四號小掃海具競技用消耗兵器
年額、爆破鉤完備ノモノニ對シテハ本年度限り掃海藥
罐完備ノモノヲ代給セシムベシ

經契第三號ノ一二二九

昭和十三年七月一日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

發振電球及整流電球統制契約ノ件通牒

首題ノ件別紙ノ通東京電氣無線株式會社及株式會社川
西機械製作所ト契約締結致候條右ニ依リ處理相成度
追テ別紙ハ所要ノ向ニ配付ス

○辭令

大村 一藏

海軍ニ於ケル事變關係調査事務ヲ囑託シ部内限奏任

官待遇トス(附海軍省)

海軍機關特務中尉 雨宮 武男

第一課兼第二課勤務ヲ命ス(附海軍省軍需局)

○雜款

海軍公報(部内限)第二千九百八十二號

昭和十三年八月九日

九一七

0626

○郵便物宛名ノ件
第二聯合特別陸戰隊宛郵便物ハ自今封筒宛名ヲ左記ノ
通トシ發送相成度

佐世保郵便局氣付
廈門陸戰隊

(海軍省副官)

○將旗移揚
第一潜水戰隊司令官ハ七月二十七日將旗ヲ迅鯨ヨリ伊
號第七潜水艦ニ、同二十九日伊號第七潜水艦ヨリ迅鯨
ニ復歸セリ

○郵便物發送先
第十二砲艇隊宛

自今

佐世保郵便局氣付軍艦白鷹

第七驅逐隊宛

當分ノ間

鎮海要港部氣付

第八驅逐隊宛

當分ノ間

大湊要港部氣付

第二十六驅逐隊及隊機關長、軍醫長宛

自今

元山郵便局氣付

檢及主計長宛

自今

鎮海郵便局留置

特設運送船神祥丸宛

八月十一日迄ニ到達見込ノモノハ大湊
共ノ後ハ 吳

○訂正

(續)

六月四日第二千九百二十六號經契第三號ノ七八五電氣
分銅購買合併契約書第一條中左ノ通訂正ス

一、吳、廣納メ「金拾圓九錢也」トアルヲ「金拾參圓
六拾錢也」但佐賀關出荷ノ場合ハ壹圓ニ付金六圓
九拾五錢也、新居濱出荷ノ場合ハ壹圓ニ付金六圓
七拾貳錢也、竹原出荷ノ場合ハ壹圓ニ付金四圓八
拾貳錢也尙吳工廠納メ三ツ子島納入ノ場合ハ別ニ
壹圓ニ付金六拾錢也ヲ加算スルモノトス
ニ改ム

0627

○艦船所在

▲印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○八月九日午前十時調

【横須賀】

對馬、大鯨、夕張▲鳳翔▲五十鈴▲山城▲
春日▲八雲、長門▲、木曾

伊六二▲
伊六二▲

伊六二▲

掃二

富士▲

(飛龍)▲(劍崎)▲(高崎)▲

【長浦】

旗風、春風、口秋風、羽風、沖風、峯雲、
山雲、朝雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂六六▲

呂五八、口伊二三、伊一二四

【石川島】

太刀風▲

【横濱】

掃五▲、掃六▲

【浦賀】

夕風▲
(霞)▲、(不知火)▲、(掃八)▲

【館山】

澤風▲
早苗

【大湊】

大泊、石廊

【函館】

若竹▲
矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、淀、
淺間、扶桑▲、千歲、大井▲、加古、口陸奥、
日向、伊勢、口霧島、金剛、口那珂、由良、

鬼怒、口迅鯨、口鳥海、摩耶、口熊野、
三隈、鈴谷、口神通、口阿武隈、口龍驤、
夕顔、吳竹、口菊、葵、萩、口磯波、口浦波、
敷波、綾波、口薄雲、白雲、叢雲、東雲、
口睦月、卯月

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七▲、呂二八、
伊五一、伊五三▲、伊五五▲、伊六五、
伊七一、口伊五七、伊五六、伊五八、
口伊七二、伊七三、口伊一二一、伊一二二、
口呂三三、呂三四、口伊一、伊二、伊三、
口伊六、伊四、伊五、伊七、口伊七〇、
伊六八、伊六九、口伊六三、伊五九、
伊六〇、口伊六四、伊六一

間宮、攝津、鳴戸

(千代田)▲

【大阪】古鷹▲

【神戸】口伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

(瑞穂)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲、(伊一六)▲

【相生】襟裳▲、早鞆▲

【玉】(掃七)▲

【因ノ島】朝風▲、松風▲

【江田内】平戸▲

【新港】最上

【下關】口矢風

【舞鶴】吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲

吹雪、初雪、白雪、帆風

伊五二

(蔽)

【佐世保】

榛名、那智、北上、羽黒、磐手、赤城、名取、常磐

梨、竹、榎、桃、柳、檜、葦、夕風、朝風、若葉、初霜、子日、初春

大潮、滿潮、朝潮、荒潮、文月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六四、呂六五、呂六七、呂六八、伊六六、伊六七

掃一、掃三、掃四

敷島

(伊七四)、(明石)

古江、峯風

長崎、佐多、(利根)、(筑摩)

鎮海、葦

【作業地】出雲、天龍、龍田、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、足柄、沖島、妙高、多摩、長良、神威、能登呂、球磨、勝力、八重山、駒橋、川内、加賀、殿島、白鷹、栗、梅、蓮、薄、蔦、藤、芙蓉、朝顔

【航海中】

尻矢 (六日「オハ」發—徳山)

隱戸 (六日吳發—大湊)

蒼龍、彌生、如月 (八日館山發—廣島灣)

室戸 (九日鎮海發—吳)

刈萱、菊月、夕月、望月、三月月、蓼、島風、汐風、灘風、水無月、長月、夕立、村雨、春雨、五月雨、白露、有明、夕暮、時雨、江風、海風、涼風、山風、追風、疾風、皐月、野風、沼風、波風、神風、柿、楡、臘、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧

初雁、千鳥、友鶴、真鶴、隼、鶴、鴨、鴻、鳩、雁、鷺、雉

掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

朝日、洲崎、鶴見、野島、膠州、知床

海軍公報 (部内限) 第二千九百八十三號

昭和十三年八月十日 (水)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房機密第二一六〇號ノ二
臨時軍事費特別會計歳出科目中左ノ通追加ス
昭和十三年八月十日

海軍大臣

軍務三機密第二五九號

昭和十三年八月十日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

揮發油取扱ニ關スル件申進

揮發油ノ取扱ニ關シテハ海軍機關教範等ニヨリ詳細指示セラレアリ各部共充分注意セラレ居ル所ナルモ特設艦船等ニ於ケル運搬、搭載時ノ取扱ニ關シテハ尙遺憾ノ點アル哉ニ認メラレ候ニ付此ノ際一層嚴重ナル注意、監督ヲ行フト共ニ鐵箱詰ノモノニ對シテハ特ニ左記事項勵行相成度

記

- 一、軍需部又ハ要港部所在地ニ於テ特設艦船等ニ對シ搭載、積卸ヲ爲ス場合ハ官ニ於テ行フ場合ト運搬請負者ヲシテ行ハシムル場合トヲ問ハズ關係廳ニ於テ監督者ヲ附スルコト
- 二、運搬請負者ヲシテ搭載、積卸ヲ爲サシムル場合ニ

○ 通 牒

款	項	目	節	會計科目 電信略號
臨時軍事費	臨時軍事費	(俸給)	候補生俸給	ハ八
		(雜費)	轉免役賜金	ネ五

海軍公報 (部内限) 第二千九百八十三號

昭和十三年八月十日

九二一

0630



ハ必ず適當ナル監督者ヲ附セシメ嚴重ナル監督ヲ爲
サシムルコト

三、運搬人夫等揮發油取扱者ニ對シ取扱上ノ注意ヲ徹
底セシムルコト

四、搭載、積卸ノ際ニ於ケル使用要具ハ軍需部、要港
部又ハ特務艦等ニ於テ指定シ指定以外ノモノヲ使用
セシメザルコト

特ニ舂ヲ使用スル場合ニハ板舂ヲ使用シ網舂ハ使用
セシメザルコト

五、揮發油ヲ搭載スル特務艦、特設運送船ニ於テハ罐
箱詰揮發油ノ状態ニ對シ一層ノ注意ヲ拂フト共ニ瓦
斯檢知器ニ依リ常ニ搭載揮發油漏洩ノ有無ヲ檢認ス
ルコト

軍需燃第一六九號 ~~昭和十四年~~ ~~第八六號~~
昭和十三年八月十日 ~~本號廢止~~

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

定期航空用燃料其ノ他整理ニ關スル件通牒
海軍軍用定期航空ニ使用セラルル航空機ニ要スル燃料
及行動用消耗品ハ左記ニ依リ整理相成度

追テ昭和十二年九月軍需機密燃第一六三號（公報部
内限二七二四號）消費報告ニハ定期航空用ナル旨附
記相成度

記

一、整理方法

燃料經理規程第十五條及同第十七條ニ依リ整理ノコ
トトス

右所要額ニ對シテハ請求ヲ俟テ別途告達セラル
但シ第二聯合航空隊ハ豫算外トス

一、供給方法
東京ニテ搭載セシモノハ横濱海軍航空隊ニ供給ノコ
トトス

福岡ニテ搭載セシモノハ佐世保海軍航空隊ニ供給ノ
コトトス

上海ニテ搭載セシモノハ第二聯合航空隊ニ供給ノコ
トトス

經豫第五號ノ三一九
昭和十三年八月十日

海軍省經理局長
各支出官殿

0631

募集旅費支出額ニ關スル件照會
 自今首題ノ件左記様式ニ依リ通報相成度
 追テ昭和十二年度分ハ九月十五日迄ニ通報ノコトニ
 取計相成度

記

昭和 年度(何々) 募集旅費支出額調

用務區分	地名	員數	金額		記事
			人	円	
徵募用務	、、、、	、、、、			
視察	、、、、	、、、、			
計					

備考
 一、記事欄ニハ出張者ノ員數ノ内譯トシテ佐官、尉官、
 特務士官、准士官、下士官及兵ニ分チ員數ヲ記載
 スルコト
 二、左記ヲ各別紙トシ通報期日ハ下記ノ通トス

- (一) 志願兵 四月末日
- (二) 甲種飛行豫科練習生 前期分三月末日
後期分十月末日
- (三) 兵、機、經校生徒 十月末日
- (四) 豫備生徒 八月末日
- (五) 軍醫科、藥劑科學生及二年現役 八月末日
- (六) 軍醫科、藥劑科士官 八月末日
- (七) 二年現役主計科及技術科士官 八月末日
- 整備科航空豫備學生 八月末日

○ 辭令

海軍大尉 山仲 傳吾
 昭和十三年八月施行ノ海軍兵學校海軍機關學校及海
 軍經理學校生徒採用試験臨時委員ヲ命ス
 (各通)
 海軍豫備中尉 谷口 榮治
 海軍豫備少尉 日名 三郎
 第三艦隊司令部ニ於ケル水先業務ヲ囑託ス
 但シ報酬年額五千四百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇
 トス(以上皆海軍省)
 軍令部出仕海軍少佐 大谷 稻穂

第一部第二課勤務ヲ命ス(海軍司令部)

○雜款

○進水

第八號驅潛艇八月九日株式會社玉造船所ニ於テ進水セリ

○司令驅逐艦復歸

第二十五驅逐隊司令ハ八月七日司令驅逐艦ヲ一時大潮ヨリ朝潮ニ變更、同八日大潮ニ復歸セリ

○事務所設置

特設病院船橋丸事務所ヲ上海海軍特別陸戰隊南京派遣部隊内ニ設置セリ

0633

○艦船所在

指[▲]印^ハハ^ハカ^フ
定^ワ要^セズ

○八月十日午前十時調

【横須賀】

對馬、大鯨、夕張、鳳翔、五十鈴、山城、春日、八雲、長門、木曾

▽曉、漣、狹霧、▽響、雷、電、沖風、

▽夏雲

呂六六、伊六二

掃二

富士

(飛龍) (劍埼) (高崎)

【長浦】

旗風、春風、▽秋風、羽風、峯雲、山雲、朝雲

呂五四、呂五五、呂五六、▽伊一二三、

伊一二四

【石川島】

太刀風

【横濱】

掃五、掃六

【浦賀】

夕風 (霞) (不知火) (掃八)

【館山】

澤風 早苗

【大湊】

大泊、隠戸 若竹

【函館】

矢矧、韓崎、比叡、衣笠、青葉、淀、淺間、扶桑、千歳、大井、加古

夕顔、吳竹、▽菊、葵、萩、▽磯波、浦波、敷波、綾波、白雲

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、

伊五一、伊五三、伊五五、伊六五、

伊七一、▽伊五七、伊五六、伊五八、

▽伊七二、伊七三、▽伊一二一、伊一二二、

▽伊三三、呂三四

攝津

(千代田)

【大阪】

古鷹 神戶

【神戸】

▽伊五四、呂五七、呂五九 (瑞穂) (伊八) (伊七五) (伊一六)

【相生】

襟裳、早鞆

【玉】

(掃七) 因ノ島

【因ノ島】

朝風、松風

【江田内】

平戸 廣島灣

【廣島灣】

▽鳥海、摩耶、▽熊野、三隈、鈴谷、▽神通、▽阿武隈、▽龍驤、蒼龍

【安藝灘】

▽薄雲、叢雲、東雲、▽陸月、卯月、如月、伊七〇、伊六八、伊六九、▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六四、伊六一、▽陸奥、日向、伊勢、▽霧島、金剛、▽那珂、由良、鬼怒、▽迅鯨

海軍公報(部内限) 第二千九百八十三號

昭和十三年八月十日

九二五

0634

【新港】

間宮、鳴戸
最上
吾妻、高雄、長鯨、愛宕
吹雪、初雪、白雪、帆風
伊五二
伊五二

【佐世保】

榛名、那智、北上、羽黒、磐手、赤城、
名取、常磐
梨、竹、榎、桃、柳、檜、蕁、夕風、
朝風、若葉、初霜、子日、初春、
大潮、滿潮、朝潮、荒潮、文月
呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、
呂六一、呂六二、呂六四、呂六五、
呂六七、呂六三、呂六八、伊六六、
伊六七、
敷島、
(伊七四)、(明石)

【古江】

峯風

【長崎】

佐多

【有明灣】

彌生

【鎮海】

楡

【作業地】

出雲、天龍、龍田、安宅、嵯峨、鳥羽、
勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、
足柄、沖島、妙高、多摩、長良、神威、

能登呂、球磨、勝力、八重山、駒橋、
川内、加賀、殿島、白鷹

栗、梅、蓮、薄、葛、藤、芙蓉、朝顔、
刈萱、菊月、夕月、望月、三日月、蓼、蓬、
菱、島風、汐風、灘風、水無月、長月、
夕立、村雨、春雨、五月雨、白露、有明、
夕暮、時雨、江風、海風、涼風、山風、
追風、疾風、卓月、野風、沼風、波風、
神風、葦、柿、朧、曙、潮、天霧、
朝霧、夕霧

呂五八

初雁、千鳥、友鶴、真鶴、隼、鵠、鴨、
鴻、鳩、雁、鷺、雉

掃一、掃三、掃四、掃一六、掃一三、
掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

朝日、洲崎、鶴見、野島、膠州、知床、
石廊

【航海中】

尻矢 (六日「オハ」發—徳山—)
室戸 (九日鎮海發—吳—)
矢風 (十日下關西口發—吳—)

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第二千九百八十四號

昭和十三年八月十一日(木)
海軍大臣官房

○通牒

官房第二六一五號ニ

昭和十三年八月十日

海軍次官

各廳長殿

官廳用石油ノ消費規正ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シ曩ニ官房第二六一五號ヲ以テ通牒候處
商工次官ヨリ更ニ別紙ノ通照會有之候條一層節約ノ實
績ヲ擧グル様特ニ配慮相成度

(別紙)

一三燃料第九一四號

昭和十三年七月三十日

商工次官 村瀬 直養

海軍次官殿

官廳用石油ノ消費規正ニ關スル件

標記ノ件ニ關シテハ四月二十七日附一三燃料第三二六

海軍公報(部内限) 第二千九百八十四號 昭和十三年八月十一日

九二七

號書面ヲ以テ得貴意置候處今般更ニ消費節減ノ程度ヲ
高メ揮發油ニ關シテハ乗用車用ニ在リテハ六〇%以上
乗用車用以外ノモノニ在リテハ三〇%以上、重油ニ關
シテハ從來ヨリ更ニ一層強度ノ節減ヲ期スルコトト致
度候條右節減ノ効果ヲ擧グ得ル様更ニ一段ノ御協力方
相煩度此段得貴意候也

尙八月以降毎月ノ購入量並消費量ニ關シテハ別紙様
式ニ依リ中央官廳ノ分ニ付テハ毎月五日迄ニ地方廳
ノ分ニ付テハ中央官廳ノ分ト別ニ取纏メ毎月十五日
迄ニ燃料局宛御報告相煩度

(別紙一様添)

軍需燃第一一一號ノ八

昭和十三年八月十日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

官廳用石油ノ消費規正ニ關スル件照會

首題ノ件ニ關シ官房第二六一五號ヲ以テ通牒相成候處

同號別紙様式ニ依ル購入量竝ニ使用量ハ海軍燃料廠ヨリ購入ノモノト直接民間ヨリ購入ノモノトニ區別シ七月分以降ヲ各翌月十日迄ニ通知相成度
 追テ五月二十日軍需燃第一一號別紙様式ニ依ル通報ハ六月分ヲ以テ打切ルコトト了知相成度

經物第二八三號

昭和十三年八月十日

海軍省 經理局

關係各廳御中

前金拂又ハ概算拂契約者ニ關スル件通知

本年三月經物第一〇六號ニ依ル首題ノ件左記ノ通承認
 致候

記

氏名	住所	事務所
株式會社東洋徑大鋼管製造所	大阪市西淀川區御幣島町三五五ノ一	
烏井 鳥次郎	福岡市湊町二一	
株式會社橋本自動車商會	佐世保市潮見町一二九	
合資會社高谷鐵工所	戸州市大字戸畑四二七八	
宮本 馨	戸州市大字戸畑二七六五	
古賀 泰吉	久留米市本町八一	
株式會社福岡縣物産貿易協會	福岡市天神町九六	
株式會社九州鐵工所	佐世保市八幡町一四五	
榎本 喜代吉	福岡市東唐人町二四	
株式會社若津鐵工所	福岡縣三潞郡大川町大字向島二五二四	
合資會社渡邊藤吉本店	福岡市上西町一六	
合名會社高瀬鐵工所	直方市祝町二五四	
株式會社青木洋鐵商店	佐世保市常盤町九九	
岡野バルブ製造株式會社	門司市大里三三五三	
合名會社青木商店	佐賀縣有田町一二一四	
合資會社自念組造船鐵工所	門司市大字門司一三〇七	
株式會社西海製作所	佐世保市白岳町八二六	
市川 漸 (中外自動車工場)	東京市中野區本郷通一ノ一五	
石田 和助	横濱市中區三吉町一ノ五	

0637

合名會社澤本合金鑄工所	東京市品川區東大崎五ノ三五	待遇トス(註同)	
中里 合名會社	東京市本所區麻橋一ノ三四	舞鶴海軍工廠付海軍技手 篠原 貫一	
合資會社服部電機製作所	東京市麻布區竹谷町二ノ五〇	海軍艦政本部勤務兼造兵監督助手ヲ命ス	
合名會社颯波鐵工所	大阪府東淀川區中津濱通三ノ六	兼海軍艦政本部勤務 同 山本 元次	
特許理化學工業株式會社	東京市本郷區駒込坂下町二三〇	兼海軍艦政本部造兵監督助手ヲ免ス(註同)	
株式會社犬塚製作所	東京市品川區東品川四ノ五	〇特設運送船朝光丸行動豫定變更	
朝日精機株式會社	東京市品川區大井鈴ヶ森町一九二七	地名 着	
日本鋼具合名會社	大阪府西區京町上通一ノ三三	因 島 八月二十八日 發	
平野 芳次	東京市京橋區銀座八ノ八	吳 世保 三十日 三十一日	
(日暮里スプリング製作所)		佐 世保 三十日	
〇 辭 令		〇 雜 款	
南 直 讓		〇 郵便物發送先變更	
臨時海軍特務部ニ於ケル事務ヲ囑託ス		聯合艦隊司令部、第一艦隊各艦(隊)、特務艦攝津宛	
但シ報酬年額貳千四百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(註同海軍省)		八月十二日迄ニ到達見込ノモノハ 吳 三田尻	
勳八等 山下 靖信		同 二十日迄ニ 同 三田尻	
青島海軍特務部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官		〇 郵便物發送先取消	
		八月三日日本欄掲載ノ第二艦隊司令部及各艦(隊)宛ノ分ハ取消ス	
		〇 潜水艦給與擔任區分ノ件	
		當隊給與擔任潜水艦左記ノ通	

海軍公報(部内限) 第二千九百八十四號 昭和十三年八月十一日

九二九

0638

海軍公報(部内限)第二千九百八十四號

昭和十三年八月十一日

九三〇

記

第十三潜水隊(伊一二一、伊一二二)
第十八潜水隊(伊五三、伊五四)
伊號第五十五潜水艦
伊號第六十五潜水艦

(吳防備隊主計長)

0639

(別紙)

月分揮發油及重油購入量及消費量報告様式

(昭和十三年八月十一日公報(部内限))

(單位 立)

重油				揮發油							油別			
合計	其他用	船舶用	漁業用	合計	其他用	船舶用	漁業用	自動車用			用途別			
								其他	貨物車	乗用車				
												購入量	消費量	台數及隻數

(註)

- (一) 自動車台數ニ付テハ大型、小型ニ區別シテ記入スルコト
 (二) 購入數量ハ用途別ニ記入スルヲ要セズ

0640

○艦船所在

指印ハハホセ
定ヲ要セズ

○八月十一日午前十時調

【横須賀】

對馬、大鯨、夕張、鳳翔、五十鈴、山城、春日、八雲、長門

山雲、伊六六、伊六二

掃二、富士

飛龍、劍崎、高崎

【長浦】

旗風、春風、秋風、羽風、朝雲、呂五四、呂五五、呂五六、伊一二三、伊一二四

【石川島】

太刀風、掃五、掃六

【横濱】

夕風、霞、不知火、掃八

【浦賀】

木曾

【木更津】

沖風、澤風、早苗、神風、大泊、隱戸、若竹

【函館】

矢矧、韓崎、比叡、衣笠、青葉、淀

淺間、扶桑、大井、加古、三隈、夕顔、吳竹、白菊、葵、萩、磯波、浦波、敷波、綾波、白雲、矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、伊五一、伊五三、伊五五、伊六五、伊七一、伊五七、伊五六、伊五八、伊七二、伊七三、伊一二一、伊一二二、伊三三、呂三四

攝津、室戸

千代田、古鷹

大坂、神戶

伊五四、呂五七、呂五九、瑞穂、伊八、伊七五、伊一六

相生、襟裳、早瀬

因ノ島、朝風、松風

江田内、平戸

廣島灣、鳥海、摩耶、熊野、鈴谷、神通、阿武隈、龍驤、蒼龍

薄雲、叢雲、東雲、睦月、卯月、如月、伊七〇、伊六八、伊六九、伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、伊六一

安藝灘、陸奥、日向、伊勢、霧島、金剛、那珂、由良、鬼怒、迅鯨

伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五、伊七

海軍公報(部内限) 第二千九百八十四號

昭和十三年八月十一日

九三一

0641

【新港】

間宮、鳴戸
最上
吾妻、高雄、長鯨、愛宕
吹雪、初雪、白雪、帆風
伊五二

【佐世保】

榛名、那智、北上、羽黒、磐手、赤城、
名取、常磐
梨、竹、榎、桃、柳、檜、葦、夕風、
朝風、若葉、初霜、子日、初春、
大潮、満潮、朝潮、荒潮、文月、
呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、
呂六一、呂六二、呂六四、呂六五、
呂六七、呂六三、呂六八、伊六七、
敷島、
伊七四、(明石)

【古江】

峯風

【長崎】

佐多

【有明灣】

(利根)、(筑摩)

【鎮海】

彌生

【作業地】

出雲、天龍、龍田、安宅、嵯峨、鳥羽、
勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、
足柄、沖島、妙高、多摩、長良、神威、

【航海中】

尻矢 (六日「オハ」發「徳山」)
千歳 (十日徳山發「佐世保」)
峯雲 (十一日長浦發「下田」)

能登呂、球磨、勝力、八重山、駒橋、
川内、加賀、嚴島、白鷹
栗、梅、蓮、薄、葛、藤、芙蓉、朝顔、
刈萱、菊月、夕月、望月、三月月、蓼、蓬、
菱、島風、沙風、灘風、水無月、長月、
夕立、村雨、春雨、五月雨、白露、有明、
夕暮、時雨、江風、海風、涼風、山風、
追風、疾風、阜月、野風、沼風、波風、
葦、柿、隴、曙、潮、天霧、朝霧、
夕霧
呂五八
初雁、千鳥、友鶴、真鶴、隼、鶴、鴨、
鴻、鳩、雁、鷺、雉
掃一、掃三、掃四、掃一六、掃一三、
掃一四、掃一五、掃一七、掃一八
朝日、洲埼、鶴見、野島、膠州、知床、
石廊

海軍公報 (部内限) 第二千九百八十五號

昭和十三年八月十二日(金)
海軍大臣官房

○令 達

官房第一〇〇四號ノ一一

昭和十二年度新造ノ十三米特型運貨船ヲ雜役船ニ編入

シ其ノ船種、公稱番號、所屬等ヲ左ノ通定ム
昭和十三年八月十二日

海軍大臣

船種	公稱番號	所屬	定數別	製造所	記事
特型運貨船 (十三米)	第三四〇〇號	佐世保防備隊 (第二防備隊供用)	臨時所屬	横濱ヨット工作所	十二雜船第一三一號契約 ノモノ
同 (同)	第三四〇一號	同	同	同	

官房第四一四七號 昭和十三年八月十二日
ニテ本號廢止 要
 及那事變中海軍法務官、海軍錄事及海軍警查ヲ左ノ通
 臨時配員ス

昭和十三年官房第二八二二號ハ之ヲ廢止ス (附)
 昭和十三年八月十二日

海軍大臣

第三艦隊軍法會議

○通 牒

海軍法務官 兼務一人
 海軍錄事 兼務一人
 海軍警查 二人(内兼務一人)

(参照) 昭和十三年官房第二八二二號ハ第三艦隊軍法會議ニ警查
 配員ノ件アリ

海軍公報 (部内限) 第二千九百八十五號

昭和十三年八月十二日

九三三

廢止 (限 部)

0643

官房第四一四八號

昭和十三年八月十二日

海軍省 副官

關係各廳長殿

寄贈品受納ノ件申進

艦船部隊共ノ他各部ニ於テ寄贈品ヲ受納セラルル場合ハ大正十四年官房第三六四〇號次官通知ニ依リ上申認許ヲ受ケテ之ガ受納ノ許否ヲ決定ノコトニ定メラレ居候處近來認許ヲ俟タズシテ受納濟ノ向往々有之之ガ爲物品整理上不都合ヲ生ジタル事例モアリ自今上申前ノ取扱ニ關シテハ一層留意相成様致度

官房第四〇四二號ノ四

昭和十三年八月十二日

海軍省 副官

關係各廳長殿

報國號飛行機要目發表範圍及寫眞撮影ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シテハ當分ノ間左記ニ依ルコトト御了知相成度

記

一、報國第二二五號(第三四日本號)

報國第二三三號(第一鑽業號)

報國第二三四號(第二鑽業號)

機種 九六式艦上爆撃機

座席 二

全幅 一一・四米

全長 九・四米

全高 三・九米

二、寫眞撮影禁止

經物第二八六號

本年經物第一〇六號前金拂又ハ概算拂ノ契約實施要領

中左ノ通改正ス

昭和十三年八月十一日

海軍省 經理局長

第四第二號ヲ左ノ如ク改ム

二、急速發註ヲ要スルモ規格仕様等ニ未確定ノモノアリテ價格ノ決定困難ナル場合又ハ價格構成ノ内容ニ付直ニ確定スルコト困難ナル部分アリテ確定契約ニ至ラザル場合
前項ニ依ル概算拂契約價格ハ一應豫定單價又ハ代

價ヲ以テシ爾後成ルベク速ニ確定單價又ハ代價ヲ
協定シ價格協定書ヲ作製スルモノトス
契約書ニハ契約履行迄ニ協定整ハザル場合ハ契約
擔任官ノ定ムルトコロニ依ル等必要ナル協定條項
ヲ掲記スルモノトス

(本年四月六日(部内限)海軍公報參照)

○ 辭令

海軍少佐 溪口 泰磨

第一課勤務ヲ命ス(附海軍省軍務局)

○ 雜款

○將旗移揚
横須賀防備戰隊司令官ハ八月十一日將旗ヲ横須賀防備
隊ヨリ一時山雲ニ移揚シ、即日復歸セリ

○軍艦千歲行動豫定

地名	名	着	發
吳	山	八月十日	八月十日
德	保	八月十日	八月十日
佐	世	八月十一日	八月十日

○軍艦大井行動豫定

地名	名	着	發
吳	兒島	八月十七日	八月十六日
鹿	谷灣	八月十九日	八月十八日
油	鶴	八月二十日	八月十九日
大	沖	八月二十一日	八月二十日
同	社	八月二十三日	八月二十二日
舞	鶴	八月二十三日	八月二十二日
油	灣	八月二十三日	八月二十二日
鹿	灣	八月二十五日	八月二十四日
吳	兒島	八月二十六日	八月二十五日

○郵便物發送先

軍艦千歲宛 自今 佐世保

軍艦大井宛 八月十五日迄ニ到達見込ノモノハ 吳
同 二十一日迄ニ 同 新舞鶴
其ノ後ハ 吳

第二十六驅逐隊及隊機關長、軍醫長宛 鎮海郵便局留置
自今
檢及主計長宛 同

○郵便物發送先變更

第二艦隊司令部、各艦(隊)(第七、第八驅逐隊ヲ除ク)特務艦間宮、鳴戸宛
 八月十二日迄ニ到達見込ノモノハ 吳
 同 十七日迄ニ 同 愛媛縣長濱
 同 二十日迄ニ 同 同 郡中

○郵便物發送先變更(七月二十五日)

軍艦木曾宛
當分ノ間

横須賀

0646

○艦船所在

指▲印▲ハ▲ホ▲カ▲フ
定▲ヲ▲要▲セ▲ズ

○八月十二日午前十時調

【横須賀】

對馬、大鯨、夕張▲、鳳翔▲、五十鈴▲、山城▲、春日▲、八雲、長門▲、木曾

▽曉▲、連▲、狹霧▲、▽響▲、雷、電▲、▽夏雲、山雲

呂六六▲、伊六二▲

掃二

富士▲

(飛龍)▲(劍崎)▲(高崎)▲

【長浦】

▽旗風、春風、▽秋風、羽風、朝雲、沖風、呂五四、呂五五、呂五六、▽伊一二三、伊一二四

太刀風▲

掃五▲、掃六▲

【石川島】

夕風▲ (霞)▲、(不知火)▲、(掃八)▲

【浦賀】

澤風▲

【館山】

峯雲▲

【下田】

早苗、神風、大泊、隠戸

【函館】

若竹▲、矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、淀、淺間、扶桑▲、大井▲、加古、最上

夕顔、吳竹、▽菊、葵、萩、▽磯波▲、浦波▲、敷波▲、綾波▲、▽矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七▲、呂二八、伊五一、伊五三▲、伊五五▲、伊六五、伊七一、▽伊五七、伊五六、伊五八、伊七二、伊七三、▽伊二二、伊二二二、▽呂三三、呂三四

室戸

(千代田)▲

【大阪】古鷹▲

【神戸】▽伊五四、呂五七▲、呂五九▲

(瑞穂)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲、(伊一六)▲

【相生】襟裳▲、早鞆▲

【玉】(掃七)▲

【因ノ島】朝風▲、松風▲

【江田内】平戸▲

【廣島灣】▽島海、摩耶、▽熊野、鈴谷、▽神通、▽阿武隈、▽蒼龍、龍驤、三隈

▽薄雲、叢雲、東雲、▽陸月、卯月、如月、白雲

▽伊七〇、伊六八、伊六九、▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六四、伊六一

【安藝灘】▽陸奥、日向、伊勢、▽霧島、金剛、▽那珂、由良、鬼怒、▽迅鯨

▽伊一、伊二、伊三、▽伊六、伊四、伊五、伊七

海軍公報(部内限) 第二千九百八十五號

昭和十三年八月十二日

九三七

0647

【舞鶴】 間宮、鳴戸
吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲
吹雪▲、初雪▲、白雪▲、帆風▲
伊五二▲

【佐世保】 (霞)▲
榛名▲、那智▲、北上▲、羽黒▲、磐手▲、赤城▲
名取、常磐、千歳

梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、楡▲、蕈▲、夕風▲
朝風▲、若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲
大潮▲、満潮▲、朝潮▲、荒潮▲、文月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲
呂六一▲、呂六二▲、呂六四▲、呂六五▲
呂六七▲、呂六八▲、呂六九▲、伊六七▲
敷島▲

(伊七四)▲、(明石)▲

【古江】 峯風
佐多▲

【有明灣】 (利根)▲、(筑摩)▲
彌生

【鎮海】 葦、柿

【作業地】 出雲、天龍、龍田、安宅、嵯峨、鳥羽、
勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、
足柄、沖島、妙高、多摩、長良、神威、
能登呂、球磨、勝力、八重山、駒橋、

川内、加賀、巖島、白鷹

栗、梅、逆、薄、葛、藤、芙蓉、朝顔、
刈萱、菊月、夕月、望月、三日月、蓼、蓬、
菱、島風、汐風、灘風、水無月、長月、
夕立、村雨、春雨、五月雨、白露、有明、
夕暮、時雨、江風、海風、涼風、山風、
追風、疾風、阜月、野風、沼風、波風、
朧、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧、楡

呂五八
初雁、千鳥、友鶴、真鶴、隼、鶴、鴨、
鴻、鳩、雁、鷺、雉

掃一、掃三、掃四、掃一六、掃二三、
掃一四、掃一五、掃一七、掃一八
朝日、洲崎、鶴見、野島、膠州、知床、
石廊

【航海中】

尻矢 (六日「オハ」發—徳山へ)
攝津 (十二日安藝灘發—徳山へ)

海軍公報(部内限)第二千九百八十六號

昭和十三年八月十三日(土)

海軍大臣官房

○令 達

官房第四一四二號

提 要

支那事變ノ爲召集中ノ豫備役後備役海軍軍人ニ對シ海軍武官任用令第二十五條、同第二十六條、海軍武官進級令第二十一條又ハ海軍兵進級規則第二十二條ノ規定ニ依リ任用進級ヲ實施ス

昭和十三年八月十二日

海軍大臣

官房第四一四三號

提 要

服役延期中ノ下士官兵ニ對シテハ支那事變中任用進級試験ヲ行ハザルコトヲ得

昭和十三年八月十二日

海軍大臣

官房機密第四四〇〇號

昭和十三年官房機密第二二五四號中左ノ通改正ス

別表中

昭和十三年八月十三日

海軍大臣

陸戰隊被服ノ部表中備考ニ左ノ一號ヲ加フ

三、褐青色夏衣袴ハ特ニ必要アル場合ニ限り二個宛

ヲ準備ス

著色事業服(帽共)ノ部表中著色事業服上衣及著色

事業服袴ノ項一人準備數ノ欄中「一個」ヲ各「二個」

ニ改ム

整備作業服(帽共)ノ部表中整備作業服(夏用)及

整備作業服(冬用)ノ項一人準備數ノ欄中「一個」

ヲ各「二個」ニ改ム

防著被服ノ部表中貸與範圍ノ欄(イ)號及(ロ)號中「艦船

乗員」ノ下各「及特設部隊ニ勤務スル者」ヲ加フ

(參照) 昭和十三年官房機密第二二五四號ハ艦船部隊(特設

艦部隊ヲ含ム)ニ勤務スル者ニ特種被服物品貸與ノ

件ナリ(四月二十七日海軍公報(部内限))

(限 内) 部

海軍公報(部内限)第二千九百八十六號

昭和十三年八月十三日

九三九

0649

○ 通 牒

軍務一機密第三〇九號

昭和十三年八月十二日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

特設艦船等ノ造修ニ關スル件申進

特設艦船等ノ造修ニ關シ内令第六百八十七號ヲ發布セラレ候處本造修ニ關シ艦船造修規則及兵器造修規則ノ適用ニ當リテハ左ノ各號ニ依リ處理相成度

追テ昭和十二年軍務一機密第四一二號ハ自然消滅ノ儀ト諒相成度

一 特設艦部隊令第二條ニ規定スル特設軍艦、特設特務艇ハ艦船令第一條ニ規定スル艦艇、特務艇ニ又特設特務艦船ハ其ノ種別ニ依リ特務艦、雜役船ニ該當スルモノトス

二 特設艦船以外ノ徵備船舶ハ登録總噸數一千噸以上ノモノニ在リテハ特務艦ニ、登録總噸數一千噸未満ノモノニ在リテハ雜役船ニ該當スルモノトス

三 前號ノ船舶ノ造修手續ニ關シテハ當該船舶ノ長ハ艦船造修規則及兵器造修規則ノ定ムル廳長ニ準ズル

モノトス但シ監督官乗船ノモノニ在リテハ之ヲ經由スルモノトス

四 第二號ノ船舶ニシテ支那方面艦隊所屬ノモノニ對スル造修所管廳ハ之ヲ佐世保海軍工廠トス

五 特設艦船以外ノ徵備船舶ノ長ニ對シテハ備船契約ニ別段ノ定アル場合ノ外備入應ヨリ本件取扱方ニ付通知スルモノトス

海人第一號ノ一一二

昭和十三年八月十二日

海軍省人事局長

提 要

候補名簿調製官
拔擢名簿調製官
關係各所轄長 殿

支那事變ノ爲召集中ノ豫備役後備役海軍軍人ノ任用進級取扱ニ關スル件通牒

官房第四一四二號ニ依ル首題ノ件ハ左記ニ依リ取扱フモノト了知相成度

追テ左記以外ニシテ特定メラルルモノノ外ハ總テ海軍武官任用進級取扱規則及海軍兵進級規則中一般現役軍人ノ定期任用進級ニ關スル諸規定ヲ準用スルモノト了知相成度

0650

記

一、拔擢名簿、候補名簿及下士官進級任用決定候補名簿ハ海軍武官任用進級取扱規則様式第一乃至第五ニ準ジ豫備役ト後備役トヲ別紙ニ區分スルコトナク一連ニ列記調製シ各氏名ノ上ニ豫備役ノモノニ在リテハ(豫)、後備役ノモノニ在リテハ(後)ト記載シ拔擢順序ハ之ヲ一貫決定ス但シ様式第四ニ準ジ調製スル拔擢名簿ハ別紙ニ依リ調製ス

二、佐官尉官ノ實役停年計算期日、拔擢名簿調製期日、拔擢名簿候補名簿進達(移牒)期限ハ左記ニ依ル

實役停年	拔擢名簿	候補名簿	調製期日	進達(移牒)期限
八月三十一日	九月一日	九月十日	十月十日	十月十日

三、任用進級試験ハ之ヲ行ハズ

四、特務士官以上ヘノ任用進級期日ハ十二月一日其ノ他ノ任用進級期日ハ十一月一日トス

(別紙一葉添)

○ 辭 令

海軍主計中尉 増田 昌

上海海軍特別陸戰隊ヨリ南京方面ニ派遣セラレタル部隊ニ要スル經費支拂ノ爲支那方面艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計兵曹長 上原 重治

右同分任出納官吏ヲ免ス(以上出納支出官海軍省經理局長)

軍令部部員陸軍歩兵中佐 加藤 定

第二部第四課勤務ヲ命ス(陸軍令部)

陸軍歩兵中佐 加藤 定

參謀部第二部第四課勤務ヲ命ス(大本營海軍部)

海軍技手 福田 正男

在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(田根地) (海軍航空本部)

○ 雜 款

○ 旗艦變更
第二航空戰隊司令官ハ八月十一日旗艦ヲ龍驤ヨリ蒼龍ニ變更セリ

○ 電話架設
鈴鹿海軍航空隊(假稱)設立準備委員事務所
白子 一六一番

(別表)

(昭和十三年八月十三日公報(部内限)別紙)

備考				年	月	日	在籍鎮守府司令長官府	氏	名	殿	職	爵	氏	名	印
(一) 經過日數ハ現官(職)任命年月日以後ノ現役服役中ノ經過日數ト召集中ノ經過日數トノ合計ヲ記入ス (二) 經過日數ノ多キモノヨリ列記ス (三) 其ノ他ハ任用進級取扱規則様式第四ニ準ジ調製ス	3	1	2	序	順	擢	拔								
				命任(職)官現	日	月	年								
				休歸ハ又役現離	日	月	年								
				日	月	年	集	召							
				數	日	過	經								
				ノ條九第令級進	數日及項事算除										
				年	停	役	實								
				章	技	特									
				(位順績成業卒)											
				點	評	務	勤								
				行善中(職)官現											
				罰刑中(職)官現											
			功			勳									
	(豫)何	(後)何	(豫)何	氏											
	某	某	某	名											
				號	番	籍	入								

0652

○艦船所在

指印ハハホフ
定ヲ要セズ

○八月十三日午前十時調

【横須賀】 對馬、大鯨、夕張、鳳翔、五十鈴、山城、春日、八雲、長門、木曾

山曉、漣、狹霧、響、雷、電、夏雲、山雲

呂六六、伊六二

掃二

富士

(飛龍)、(劍崎)、(高崎)

【長浦】 旗風、春風、秋風、羽風、朝雲、峯雲、沖風

伊一二四

太刀風

掃五、掃六

【浦賀】 夕風、(霞)、(不知火)、(掃八)

【館山】 澤風

早苗、神風

呂五八

大泊、隱戶

【函館】 若竹

矢矧、韓崎、比叡、衣笠、青葉、淀、淺間、扶桑、大井、加古、最上

夕顔、吳竹、萩、葵、萩、磯波、浦波、敷波、綾波、矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、伊五一、伊五三、伊五五、伊六五、伊七一、伊五七、伊五六、伊五八、伊七二、伊七三、伊二二、伊二二、呂三三、呂三四

室戸

(千代田)

【大阪】 古鷹

【神戸】 伊五四、呂五七、呂五九

(瑞穂)、(伊八)、(伊七五)、(伊一六)

【相生】 襟裳、早鞆

【玉】 (掃七)

【因ノ島】 朝風、松風

【江田内】 平戸

【廣島灣】 鳥海、摩耶、熊野、鈴谷、神通、阿武隈、蒼龍、龍驤、三隈

薄雲、叢雲、東雲、陸月、卯月、如月、白雲

伊七〇、伊六八、伊六九、伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、伊六一

【安藝灘】 陸奥、日向、伊勢、霧島、金剛、那珂、由良、鬼怒、迅鯨

伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五、伊七

海軍公報(部内限) 第二千九百八十六號

昭和十三年八月十三日

九四三

0553

【徳山】

鳴戸
尻矢

舞鶴 吾妻、高雄、長鯨、愛宕

吹雪、初雪、白雪、帆風
伊五二

【佐世保】

榛名、那智、北上、羽黒、磐手、赤城、
名取、常磐、千歳

梨、竹、樵、桃、柳、檜、葦、夕風、
朝風、若葉、初霜、子日、初春、
大潮、満潮、朝潮、荒潮、文月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、
呂六一、呂六二、呂六四、呂六五、
呂六七、呂六三、呂六八、伊六六、
伊六七、敷島

(伊七四)、(明石)

【古江】

峯風

【長崎】

佐多

【有明灣】

彌生

【鎮海】

草、柿

【作業地】

出雲、天龍、龍田、安宅、嵯峨、鳥羽、
勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、
足柄、沖島、妙高、多摩、長良、神威、

【航海中】

攝津 (十二日徳山發—細島へ)
間宮 (十三日安藝灘發—長濱沖へ)

能登呂、球磨、勝力、八重山、駒橋、
川内、加賀、殿島、白鷹、
栗、梅、逆、薄、葛、藤、芙蓉、朝顔、
刈萱、菊月、夕月、望月、三日月、蓼、蓬、
菱、島風、汐風、灘風、水無月、長月、
夕立、村雨、春雨、五月雨、白露、有明、
夕暮、時雨、江風、海風、涼風、山風、
追風、疾風、阜月、野風、沼風、波風、
朧、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧、楡、
初雁、千鳥、友鶴、真鶴、隼、鵲、鶉、
鴻、鳩、雁、鷺、雉、
掃一、掃三、掃四、掃一六、掃二三、
掃一四、掃一五、掃一七、掃一八、
朝日、洲崎、鶴見、野島、膠州、知床、
石廊

0654

海軍公報(部内限)號外

海軍大臣官房

昭和十三年八月十三日(土)

○令 達

官房第三六五六號ノ二

昭和十三年度新造雜役船ノ船種、公稱番號、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十三年八月十一日

海軍大臣

(限 内 部)

船種	公稱番號	所屬	記		製造所	契約場納所	竣工納日	備考
			定數別	定數補充				
内火ランチ (十二米)	第八六號	海軍工機學校	臨時附屬		墨田川造船所	横須賀工廠	昭和十四年 二月二十八日	
同	第八九號	海軍潜水學校	同		同	同	同	
同	第九〇號	海軍砲術學校	代船(定數) 公稱第一八三號		同	同	同	
同	第九一號	父島海軍航空隊 (假稱)	定數補充		同	同	同	
同	第九二號	鈴鹿海軍航空隊 (假稱)	同		吳鎮守府司令長官ニ訓令 (吳海軍工廠製造)	同	同	
同	第九三號	横須賀防備隊	代船(定數) 公稱第八七三號		墨田川造船所	横須賀工廠	同	

海軍公報(部内限)號外

0655

海軍公報（部内限）號外

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)
第九三號	第九三號	第九三號	第九〇號	第九九號	第九六號	第九七號	第九六號	九五五號	第九四號	第九三號	第九三號	第九三號	第九〇號	第九九號
海軍機關學校	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍兵學校	同	同	同	佐世保海兵團
臨時附屬	公稱第四二八號 代船(定數)	公稱第四五五號 代船(定數)	同	同	同	同	同	同	同	臨時附屬	公稱第六五四號 代船(定數)	公稱第六五〇號 代船(定數)	公稱第四七八號 代船(定數)	公稱第四六六號 代船(定數)
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	墨田川造船所	同	同	同	長崎三菱重工業會
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	横須賀工廠	同	同	同	佐世保工廠
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
		同十三年 六月二十日						同十四年 三月二十四日		同 七月三十一日		同 十月三十一日		同 八月三十一日

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	傳馬 (十二米)	內火傳馬船 (六米)	同	同	同
(同)	(八米)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(同)	(十米)
第百二十九號	第百二十八號	第百二十七號	第百二十六號	第百二十五號	第百二十四號	第百二十三號	第百二十二號	第百二十一號	第百二十號	第百十九號	第百十八號	第百十七號	第百十六號	第百十五號
麻里布海軍航空隊 (假稱)	鈴鹿海軍航空隊 (假稱)	大湊要港部	舞鶴海軍工廠	麻里布海軍航空隊 (假稱)	支那海軍港務部德山	佐世保防備隊	支那海軍港務部德山	吳海軍軍需部	海軍航空廠	橫須賀海軍港務部	海軍航空廠	吳海軍航空隊	鈴鹿海軍航空隊 (假稱)	佐世保海軍軍需部
同	定數補充	公稱第一九〇九 號代船(定數)	公稱第一〇一八 號代船(定數)	同	同	定數補充	同	公稱第一七四七 號代船(定數)	同	定數補充	同	臨時附屬	定數補充	同
佐世保鎮守府司令長官ニ訓令 (佐世保海軍工廠製造)	吳鎮守府司令長官ニ訓令 (吳海軍工廠製造)	大湊要港部司令官ニ訓令 (大湊要港部工作部製造)	舞鶴要港部司令官ニ訓令 (舞鶴海軍工廠製造)	同	佐世保鎮守府司令長官ニ訓令 (佐世保海軍工廠製造)	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
十二月末日	十一月末日	同	同	十二月末日	九月末日	同	同	同	同	同	同	同	同	同

海軍公報 (部内限) 號外

海軍公報 (部内限) 號外

同	同 (同)	第三四〇號	橫須賀海兵團	同	大湊要港部司令官ニ訓令 (大湊要港部工作部製造)	同	
同	同 (同)	第三四三號	吳海兵團	同	墨田川造船所	同	十一月三十日
同	同 (同)	第三四三號	海軍經理學校	臨時附屬	同	同	同
同	同 (同)	第三四三號	同	同	同	同	同
同	同 (同)	第三四三號	同	同	同	同	同
同	同 (同)	第三四四號	橫須賀海軍港務部	定數補充	同	同	同
同	同 (同)	第三四五號	馬公要港部	臨時附屬	馬公要港部司令官ニ訓令 (馬公要港部工作部製造)	同	十二月末日
同	同 (同)	第三四六號	同	同	同	同	同十四年 三月末日
同	同 (同)	第三四七號	同	同	同	同	同
同	同 (同)	第三四八號	佐世保海軍軍需部	定數補充	三菱重工業會社 (長崎)	佐世保工廠	同十三年 七月三十一日
同	同 (同)	第三四九號	同	同	同	同	同
運貨船 (シヤラン型) (百噸積)	同 (同)	號三四〇號	吳海軍軍需部	同	吳鎮守府司令官ニ訓令 (吳海軍工廠製造)	同	同十一月末日
同	同 (同)	第三四三號	吳海軍軍需部 支部(佐世保) 徳山	同	同	同	同九月末日
同	同 (同)	第三四三號	佐世保海軍港務部	臨時附屬	佐世保鎮守府司令官ニ訓令 (佐世保海軍工廠製造)	同	同
同	同 (同)	第三四三號	鎮海要港部	公稱第一七六一 號代船(定數)	鎮海要港部司令官ニ訓令 (鎮海要港部工作部製造)	同	同十月末日

海軍公報 (部内限) 號外

同 (丸マ型) (五十噸積)	第三四三號	橫須賀海軍建築部	公稱第二〇二八 號代船(定數)	橫須賀鎮守府司令長官ニ訓令 (橫須賀海軍工廠製造)	同十四年 末日
同 (團平型) (三十噸積)	第三四三號	橫須賀海軍工廠	定數補充	橫濱ヨット工作所 橫須賀工廠	同
同 (同)	第三四三號	同	同	同	同
水 船 (百五十噸積)	第三四三號	佐世保海軍港務部	臨時附屬	佐世保鎮守府司令長官ニ訓令 (佐世保海軍工廠製造)	二 月 末 日
同 (同)	第三四三號	鎮海要港部	公稱第一三四一 號代船(定數)	鎮海要港部司令官ニ訓令 (鎮海要港部工作部製造)	三 月 末 日
同 (同)	第三四三號	旅順要港部	定數補充	旅順要港部司令官ニ訓令 (旅順要港部工作部製造)	二 月 末 日
同 (同)	第三四三號	馬公要港部	臨時附屬	馬公要港部司令官ニ訓令 (馬公要港部工作部製造)	三 月 末 日
同 (同)	第三四三號	橫須賀海軍港務部	定數補充	橫須賀鎮守府司令長官ニ訓令 (橫須賀海軍工廠製造)	同
重 油 船 (三百噸積)	第三四三號	旅順要港部	同	旅順要港部司令官ニ訓令 (旅順要港部工作部製造)	五 月 末 日
同 (百五十噸積)	第三四三號	馬公要港部	公稱第二一三六 號代船(定數)	馬公要港部司令官ニ訓令 (馬公要港部工作部製造)	三 月 末 日
同 (同)	第三四三號	同	號代船(定數)	同	同
泥 受 船 (二十噸積)	第三四三號	吳海軍港務部	定數補充	吳鎮守府司令長官ニ訓令 (吳海軍工廠製造)	一 月 末 日
同 (同)	第三四三號	佐世保海軍港務部	同	佐世保鎮守府司令長官ニ訓令 (佐世保海軍工廠製造)	三 月 末 日
橋 船 (長二〇米巾六米)	第三四三號	海軍兵學校	同	吳鎮守府司令長官ニ訓令 (吳海軍工廠製造)	同

0661

海軍公報 (部内限) 第二千九百八十七號

海軍大臣官房

昭和十三年八月十五日(月)

○感 狀

感 狀

森海軍大佐ノ指揮セシ

揚子江部隊前衛隊

昭和十三年六月十四日九江攻略作戦開始セララルヤ揚子江部隊前衛隊ハ豫テ我ガ進攻ニ備ヘ狹長ナル水路ヲ扼シテ隨所ニ多數ノ機雷ヲ敷設シ險要ニ砲壘ヲ増強シテ防守セル敵ノ堅陣ニ對シ敢然進撃執拗ナル空襲ト猛烈ナル銃砲火ニ曝露シツツ四旬ニ亘リ炎暑ト戦ヒ困苦ニ堪ヘ濁流中ニ觸雷ノ危険ヲ冒シツツ連日不撓ノ努力ヲ重ネ五百有餘ノ機雷ヲ處分シテ水路ヲ啓開シ以テ遡江作戰ノ進展ヲ可能ナラシメ遂ニ七月二十五日勇躍挺身九江港域ニ突入シテ江岸ノ頑敵ヲ制壓シ其ノ攻略ヲ迅速ナラシメタルハ武勳顯著ナリ

仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

支那方面艦隊司令長官 及川古志郎

海軍公報 (部内限) 第二千九百八十七號

昭和十三年八月十五日

九四五

○令 達

官房機密第四四三六號

提 費

今次事變ニ於ケル鹵獲品中機銃、小銃、拳銃及同彈藥包並ニ各種砲及同用彈藥火工兵器ニ限リ海軍戦利品取扱規程第三條及第七條ノ規定ニ拘ラズ之ガ取扱ヲ左ノ通定ム

昭和十三年八月十五日

海 軍 大 臣

- 一、鎮守府司令長官又ハ要港部司令官ハ鹵獲品ノ送付ヲ受ケタルトキハ(既ニ受領ノモノヲ含ム)機銃、小銃、拳銃(附屬品共)及同彈藥包ニ在リテハ横須賀海軍軍需部ニ、各種砲及同用彈藥火工兵器ニ在リテハ吳海軍軍需部ニ送付セシムルモノトス但シ別ニ指定アルモノ、甚シク毀損セルモノ及危険ト認メラルル彈藥ハ此ノ限ニ在ラズ
- 二、横須賀海軍軍需部又ハ吳海軍軍需部ハ横須賀海軍

工廠又ハ吳海軍工廠ト協議ノ上之ヲ調査シ其ノ品名
 數量及現狀(兵器ニ受入ノ能否等)ヲ横須賀鎮守府
 司令長官又ハ吳鎮守府司令長官ニ報告スルト共ニ海
 軍艦政本部長及海軍省經理局長ニ通報スルモノトス
 三、本品ノ處理ニ關シテハ別ニ指示スルモノトス

○通牒

官房機密第四四三七號
 昭和十三年八月十五日

提 要

海 軍 省 副 官

關係各廳長殿

函 獲 品 ニ 關 ス ル 件 通 牒

今次事變ニ於ケル函獲品ノ取扱ニ關シテハ昭和十二年
 官房第四四九一號及八月十五日官房機密第四四三六號
 ヲ以テ規定セラレ候處當該品中火藥火工兵器類ノ取扱
 ニ關シテハ慎重ニ處理シ不測ノ災害ヲ生ゼザラシムル
 コト肝要ナルヲ以テ其ノ取扱ニ關シテハ關係規程ニ依
 ルノ外左記ニ依リ處理ノコトニ定メラレ候

記

一、函獲火藥火工兵器類ハ總テ先ヅ最寄海軍工廠又ハ

要港部ニ於テ調査シ左ノ通處理スルモノトス
 (イ) 火藥火工兵器取扱規則ニ準據シ取扱方等ヲ明ナ
 ラシムルコト
 (ロ) 危険ト認メタルモノニ對シテハ火藥類其ノ他ノ
 危険箇所ヲ除去セシムルコト
 (ハ) 危険大ナルモノニ對シテハ適宜處分セシムルコ
 ト

二、第一號ノ手續ヲ了セザル函獲火藥火工兵器類ヲ保
 管スル艦船部隊等ハ其ノ手續完了迄火藥火工兵器取
 扱規則中特種彈ノ例ニ依リ之ヲ取扱フモノトス
 三、鎮守府ヲ經由セズシテ海軍省又ハ其ノ他ノ在京各
 廳ノ直接入手セル前各號ノ物件ニ付テハ總テ海軍技
 術研究所ニ於テ第一號ニ準ジ處理スルモノトス

○辭令

朝日工作部附海軍技手 金 川 漸
 吳海軍工廠勤務兼海軍艦政本部造兵監督助手海軍技
 手 養 成 所 附 ヲ 命 ス
 同 同 蛭 田 研 造
 横須賀海軍工廠附ヲ命ス

0664

<p>朝日工作部附同 長山 博 海軍航空廠附ヲ命ス 濱田 龜之丞</p>	<p>同 濱田 龜之丞 歸朝ヲ命ス 海軍艦政本部造兵監督助手 山本 良雄</p>	<p>同 山本 良雄 英國へ出張ヲ命ス(上以^以海軍省) 技術部第三課勤務ヲ命ス(海軍航空本部) 橋川 裕</p>	<p>○雜款</p>	<p>○軍艦古鷹行動豫定 地名 着 發 大阪 八月二十一日</p>	<p>○伊號第七十四潜水艦行動豫定 地名 着 發 佐世保 八月十七日 吳 八月十六日</p>	<p>○郵便物發送先 軍艦古鷹宛</p>
<p>八月二十日迄ニ到達見込ノモノハ 大阪四貫島 其ノ後ハ 吳</p>	<p>第二砲艇隊宛 自今 佐世保郵便局氣付(軍事郵便)</p>	<p>第十一砲艇隊宛 自今 佐世保郵便局氣付(軍事郵便)</p>	<p>伊號第七十四潜水艦宛 八月十五日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保 其ノ後ハ 吳</p>	<p>特務艦間宮宛 八月十六日迄ニ到達見込ノモノハ 愛媛縣長濱 同十九日迄ニ 同 山口縣防府 其ノ後ハ 吳</p>		

海軍公報(部内限) 第二千九百八十七號

昭和十三年八月十五日

九四七

0665

○艦船所在

指[△]印[△]ハ[△]ハ[△]ホ[△]ケ[△]フ[△]
指[△]定[△]ワ[△]要[△]セ[△]ズ

○八月十五日午前十時調

【横須賀】

對馬、大鯨、夕張、鳳翔、五十鈴、山城、春日、八雲、長門、木曾

▽曉、漣、狹霧、▽響、雷、電、朝雲

▽呂六六、伊六二

掃二

富士

(飛龍) (劍崎) (高崎)

【長浦】

▽旗風、春風、▽秋風、羽風、▽夏雲、山雲、峯雲、沖風

▽呂五四、呂五五、呂五六、▽伊一二三、伊一二四

太刀風

【石川島】

掃五、掃六

【横濱】

夕風 (霞) (不知火) (掃八)

【浦賀】

澤風

【館山】

早苗

【大湊】

呂五八

【函館】

若竹

▽矢矧、韓崎、比叡、衣笠、青葉、淀、淺間、扶桑、大井、加古、最上、夕顔、吳竹、▽菊、葵、萩、▽磯波、浦波

敷波、綾波、▽矢風

▽呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、伊五一、伊五三、伊五五、伊五六、伊五八、伊七一、▽伊五七、伊五八、伊五九、伊七二、伊七三、▽伊一二二、伊一二三、▽呂三三、呂三四

室戸

(千代田)

大阪

古鷹

神戶

▽伊五四、呂五七、呂五九

(瑞穂) (伊八) (伊七五) (伊一六)

相生

襟裳、早鞆

【玉】

(掃七)

因ノ島

朝風、松風

【江田内】

平戸

▽伊七〇、伊六八、伊六九、▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六四、伊六一

【三川尻沖】

▽陸奥、日向、伊勢、▽霧島、金剛、▽那珂、由良、鬼怒、▽迅鯨

【長濱沖】

▽伊一、伊二、伊三、▽伊六、伊四、伊五、伊七、▽伊海、摩耶、▽熊野、鈴谷、三隈、▽神通、▽阿武隈

▽薄雲、叢雲、東雲、白雲

間宮、鳴戸

【佐伯】

▽蒼龍、龍驤

【細島】 陸月
 攝津
 【舞鶴】 吾妻、高雄、長鯨、愛宕
 吹雪、初雪、白雪、帆風
 伊五二

【佐世保】 榛名、那智、北上、羽黒、磐手、赤城、
 名取、常磐、千歳

梨、竹、榎、桃、柳、檜、重、夕風、
 朝風、若葉、初霜、子日、初春、
 大潮、満潮、朝潮、荒潮、文月
 呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、
 呂六一、呂六二、呂六四、呂六五、
 呂六七、呂六八、伊六六、
 伊六七

【古江】 峯風
 (伊七四)、(明石)

【長崎】 佐多
 (利根)、(筑摩)

【有明灣】 彌生

【那覇】 如月

【鎮海】 葦、楡

【才八】 石廊

【作業地】 出雲、天龍、龍田、安宅、嵯峨、鳥羽、

【航海中】

卯月 (十三日廣島灣發—佐伯へ)

辰月 (十四日鎮海發—長濱へ)

巳月 (十四日宗谷海峽發—長濱へ)

朝霧 (十五日大湊發—長濱へ)

大泊 (十五日大湊發—津輕海峽へ)

尻矢 (十五日徳山發—横須賀へ)

勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、
 足柄、沖島、妙高、多摩、長良、神成、
 能登、球磨、勝力、八重山、駒橋、
 川内、加賀、嚴島、白鷹
 栗、梅、蓮、薄、葛、藤、芙蓉、朝顔、
 萱、菊、夕月、望月、三月、蓼、蓬、
 菱、島風、沙風、灘風、水無月、長月、
 夕立、村雨、春雨、五月雨、白露、有明、
 夕暮、時雨、江風、海風、涼風、山風、
 追風、疾風、皐月、野風、沼風、波風、
 神風、柿
 初雁、千鳥、友鶴、真鶴、隼、鶴、鴨、
 鴻、鳩、雁、鷺、雉
 掃一、掃三、掃四、掃一六、掃一三、
 掃一四、掃一五、掃一七、掃一八
 朝日、洲崎、鶴見、野島、膠州、知床、
 隠戸